



日本医療機能評価機構認定病院

美山だより

理念

よき医療とやすらぎの環境



(緩和ケア認定看護師 小林洋子)

美山病院の基本方針

- 1・地域医療に貢献し、すべてのサービスに誇りと責任を持ち愛される病院になります。
- 2・医療人としてよりよい医療や看護が提供できるよう自己研鑽します。
- 3・安心した療養生活ができるように心の通った介護をいたします。
- 4・健全経営を確立し、常に個人と組織が向上する環境を保ちます。
- 5・病院組織をあげて医療の安全確保や感染対策に最善を尽くします。

緩和ケア認定看護師の誕生

この度、たくさんのご支援を頂き、緩和ケア認定看護師の資格を取得することができました、緩和ケア病棟の小林洋子です。緩和ケア認定看護師を目指したきっかけは、当院で行われ



た緩和ケアの勉強会です。現在の院長である及川先生の講義を聴講し、患者さん、ご家族にこれほど寄り添える看護はないと、強く感銘を受けて緩和ケア病棟での勤務を希望しました。その後、たくさんの患者さんとご家族に関わらせて頂きながら、自分自身の力不足を感じ、専門的な知識・技術を学びたいと、緩和ケア認定看護師へ進もうと決意しました。教育過程へ入学してからの8ヶ月間は、自分がやっていけるだろうかという不安でいっぱいでした。研修中は、新しい知識や技術を学びますが、それ以上に自分自身のこれまでの看護を振り返ることや自分自身と向き合うことが多く、自信をなくし落ち込むこともありました。しかし、その度にこれまでに携わらせて頂いた患者さんやご家族のことが頭に浮かび、研修をやり遂げる原動力になりました。そして、総師長、病棟師長はじめスタッフからの励ましや同期の研修生との語らい、研修センターの先生方の導きが大きな支えになりました。さらに家庭をもつ私にとって、家族の理解と応援があったことはなにより力になりました。この多くの支えが無くてはここまでくることはできませんでした。無事に資格取得することができました今、心に浮かぶ言葉は「感謝」の一言です。これから、この感謝の思いを患者さん、ご家族へのより良いケアとして、お返しできるようにさらに精進していきたいと思います。

目 次

- 1P…緩和ケア認定看護師の誕生
- 3P…禁煙のフォーラム参加 / 玄関脇の花壇に注目
- 5P…学会発表参加（緩和ケア病棟・リハビリ科）
- 7P…午後の暑さを ドリンクサービスでニッコリ

- 2P…岩手医大の医学生医療体験
- 4P…美山・ベルク夏祭り / 何故口腔ケアが必要なのか
- 6P…緩和ケア病棟 七夕の会・遺族会を終えて
- 8P…防災訓練の実施/地域連携室より/今後の行事予定

岩手医大の医学生が医療体験

平成27年7月23日 9:00~

「目的」として各医療機関を訪問し、地域医療機関で働く医師の活動を通して医師になる者としての自覚を高めるとともに、医師の果たすべき役割を習得することを目的として実施された。

体験内容は、最初に院長より当院は入院患者の多くは後期高齢者で急性期病院からの継続治療、リハビリを依頼されるいわゆる「慢性期病院」であること。

「お年寄りが安心して療養できる病院」「緩和ケアの心を基にして、看取りも視野に入れた病院」と位置付けていること。そのためにも患者さんの身になって考え、コミュニケーションをとることが必要である等わかりやすく当院の方針や診療の基本的なお話を頂いた。

午前中作業療法士・理学療法士に同行してリハビリ体験や緩和ケア病棟での訪問体験、患者さんへの食事介助体験、昼食は患者さんと同じメニューを試食して頂いた。

午後は、一般病棟や療養病棟の回診補助体験をして頂き最後に感想懇談会で一日の医療体験が終了し、緊張の中にも何かしら得るものがあったようであった。

実際の現状に触れ、ご高齢の患者さんが沢山いらして、通常の病院のイメージから大きくかけ離れていてとても驚きましたと感想を述べて頂いた。今後、益々後期高齢者の患者さんが増え続ける時代に入り、高齢化社会では病院完結型から、医療・介護・福祉の多職種が連携して医療を提供する時代となります。今日の体験で少しでも慢性期医療に興味を持っていただき、いつかは当院のような形態の病院に勤務して頂くと県民の皆さんには有難いと思います。素晴らしい医療人として活躍できるように期待したいと思います。



「院長室にて懇談会の様子」



今年も4人の医学生が医療体験に、 参加して頂いた。 高齢の患者さんが殆どで、 その中でも意思疎通がままならない方が多く入院していることに、 びっくりでした。 この様な機会が無ければ、 慢性期医療の現場を見ることがなく非常に貴重な体験であったと感想を頂きました。

世界禁煙デー 岩手フォーラムに参加

リハビリテーション科

及川沙緒里

岩手県民情報交流センター（アイーナ）で平成27年6月6日に開催

労働安全衛生委員会の活動の一環として、**2015年世界禁煙デー岩手フォーラム～禁煙それがスタートライン きれいな空気を岩手から～**に参加してきました。各大学・飲食店での完全禁煙についてのシンポジウム、日本のタバコ対策の現状と打開策についての特別講演、禁煙クイズの演劇や測定ブース・ポスター展示なども交えた、とても充実した内容でした。

講演によると、若い時期から禁煙教育が必要であり、行為を止めさせることが目的ではなく健康を第一に考えた支援が大切で、「この場所なら」などの例外は作らず長期的に敷地内禁煙を推進していくことが、完全禁煙の成功のカギとなるそうです。また、飲食店の完全禁煙店は10年で10倍に増加していますが、北海道・東北では分煙・禁煙が出来ていない地域が多く、残念ながら奥州市の完全禁煙店は1件。ちなみに喫煙可の飲食店は北京と同レベルの空気の汚さで、不完全分煙も完全分煙も飲食物に煙が付着するため意味がないそうです（喫煙者の口腔内のPM2.5は10万 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ！5cm窓を開けた車内は3500 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ！）。その他「なぜ日本は世界的にみて禁煙対策が遅れているのか？」JTと国の関係性に関する政治的観点からの貴重な話や、喫煙による過剰な医療費コストが1兆3千億円にもなるという医療ならではの話も聞くことができました。

当院でも職員の健康を守るべく禁煙対策に取り組んでいます。

アンケートによれば、部署によっては禁煙が成功した人や喫煙回数が減った人もいるようです。

メタボリックシンドロームの人の約50%は喫煙が原因とも言われていますので、健康診断に肺機能やストレスチェックの検査項目を追加することも必要となってきます。

医療に携わる者として、まずは自分の健康第一で！

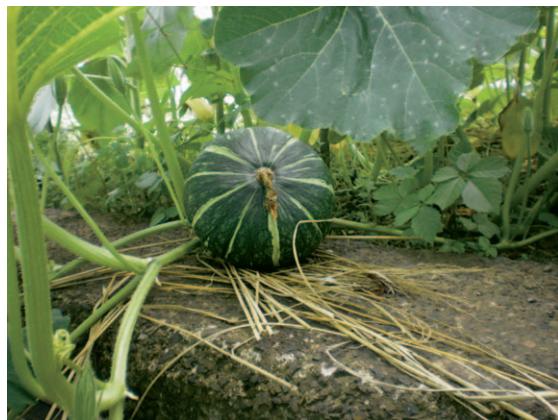
患者様を元気にしていきたいと思います。



病院玄関脇の花壇 赤いヒマワリとかぼちゃで注目！

今年はいつもの花壇とちょっと違います。美山デイ・ケアセンターを利用している皆さんで「かぼちゃ」やヒマワリを植えました。特にヒマワリは色が珍しいこともあります。お見舞いの方や来客者が立ち止まって見入っています。

利用者の皆さんも大きく成長する姿を見て嬉しそうです。



かぼちゃの収穫時期が待ち遠しいなあ



赤いヒマワリに注目

第17回 美山・ベルク夏祭り開催

平成27年7月25日夕方4時～

今年も大変暑い日が続いたこともあり、夕方から施設のホールで開催しました。

患者さんや利用者さんはとても楽しみのようで、朝からスタッフが準備している様子を見ながら待ち望んでいました。



お祭りが始まると事前に頂いていた食券を握りしめて、どれから食べようか
模擬店の前でおやつを品定めしていました。内容は「焼きそば・たこ焼き・綿あめ・かき氷」です。
また、食べ物だけでなく「とすけものコーナー」があり、皆さん豪華賞品が当たると大きな歓声をホール一杯に響かせていました。 来年も楽しみですね。

何故口腔ケアが必要なのか

平成27年8月27日口腔ケアの研修会を開催する



各自がマイ歯ブラシを持参して、実践しながらケアの大切さを学びました

平成27年8月27日、口腔ケアの研修会を開催しました。

講師は奥州市水沢区のちば歯科医院、院長の千葉雅之先生により、「口腔ケアはなぜ必要なのか」という内容で、参加者約40名で行いました。

口腔ケアを行うことにより誤嚥性肺炎を予防することはもちろん、認知やインフルエンザの予防にも有効であり、口腔ケアの大切さを改めて学習しました。

一番大切なのは、患者様が気持ちいいと感じるケアをする事、とお話がありました。

当院では、患者様に喜んでいただけるケアを、今後も目指して行きます。

第20回日本緩和医療学会学術大会に参加

緩和ケア病棟 看護師 吉田葉子

大会日：平成27年6月19日～20日

全国大会の規模が想像つかないなか、いざ会場へ。

約7800人が参加、どの会場も沢山の人で埋め尽くされその中で発表するのかと次第に緊張が高まりました。

今まで協力して頂いた方達の応援を思い出し、無事終了することが出来ました。感謝の気持ちでいっぱいです。

デスカンファレンスは現在どこの施設でも試行錯誤で行っており、これから必要性が認識され発展していくと思われるカンファレンスと考えています。

緩和ケアに必要なカンファレンスと捉え有意義に継続していくために必要な改善を試みその結果を報告しました。自分達の発表ポスターに色々な方が集まり写真を撮つて行く人も多く、また発表後の質問なども多く興味を持って頂いたことを嬉しく思いました



発表ポスターです

第50回日本理学療法学術大会に参加

リハビリテーション科 理学療法士 尾崎玲

平成27年6月5日～7日にかけて、第50回日本理学療法学術大会が東京国際フォーラムで開催されました。

今回は第50回の記念大会ということもあり、三日間の参加者が1万人を超える非常に規模の大きな学術大会でした。

そして、私にとっては初めての全国規模の学会参加とポスター発表をする機会となりました。

「リハビリテーションスタッフの褥瘡に関する評価スケールの理解度調査」というポスター発表を行い、多くの方に発表を聞いて頂き、用意した配布資料は終了時間前には全てなくなりました。

データを取り、抄録やポスターを作成する過程は非常に苦労しましたが、いい経験が出来ました。今後も頑張って学会参加や発表を続けていきたいと思います。



大会の案内

第4回 七夕（しちせき）の会・遺族会を終えて

平成27年7月11日 緩和ケア病棟で開催



開会のアイサツ



七夕会に相応しく

見事に彩られ素晴らしい！

七夕の会も4回目を迎えるにあたり、私たちスタッフが大切にしてきた思いとしては「あったかい会にしたいね」でした。来て下さった家族様が、笑顔になれ、心穏やかとなり帰って頂けるような。まだ、心が辛い方はスタッフに話をすることでお気持ちを楽にし、明日への一歩となれるようお手伝いできればと取り組んできました。



スタッフとの交流で



気持ちが晴れやかに



久々の再開でホール

ボランティアさんと栄養科スタッフ

全体が和やかに

7月11日（土）10名の患者の家族様 14名を迎え、ボランティア5名、栄養科による協力のもと、遠山様の奏でるピアノの音が流れる中、壁には病棟の様子、四季折々の風景などをスライドで写し、会がとり行われました。患者様の入院中のエピソードに家族様とスタッフが涙したり、笑ったりと。中には、口から物を食べられない方だったが、本人、家族様の希望でミニ五郎（焼酎）をスポンジで味わって頂いた時お顔がピンクになったことなどや、今の家族様の様子をうかがうことができ無事に会が終了しました。今後への課題もまだまだありますが、他のスタッフの協力のもと来て下さった家族様、そして私たちスタッフ自身も癒し、癒やされ、元気に前に進んでいけるような気がしました。手前味噌ですが、ピアノの遠山様が忙しく途中で帰られるはすでしたが、ピアノを弾き終わってもゆっくり会の様子を見守っていたのが嬉しかったです。



ピアノ演奏 遠山さん



冷たい飲み物
サイコー

午後の暑さを ドリンクサービスでニッコリ

大変好評

栄養科では、患者様へより良いサービスを提供するため各月で栄養管理運営委員会を開催しております。当院では、入院生活が長期に及ぶ患者さんが多いため、日々の生活が単調にならないよう各科様々な工夫で入院生活をサポートしています。6月の委員会では「ドリンクサービス」が提議され、楽しい午後のひと時を提供できればとの思いと、夏季の脱水対策の一助として7月～8月に実施されました。

今年の夏は7月初旬から30℃超えの蒸し暑い日が続き、だまって居ても汗が流れる程！そんな中、冷たい飲み物は患者様に大好評でした。

糖質制限のある方
でも選択 Ok

種類	エネルギー kcal	糖質 g
スポーツドリンク	0	0.7
メロンソーダ	10	3.5
赤しそジュース	28	7.0

ドリンクは糖質制限のある方でも皆と同じく選択できるよう考慮し、3種類に設定、対象人数は患者様との会話を楽しめるよう1日4～6名程度とし、15時から各病室を訪問しました。食事制限のある患者様の主治医への確認や飲食時の姿勢などは病棟スタッフの協力を得て、安心安全を確保した上で提供することが出来ました。

ホールにて高校野球の観戦をしながらスポーツドリンクのオーダーをした方、「市販のジュースよりも美味しいわ」とほほ笑みながらメロンソーダを飲んで頂いた方、「酸味と甘味が丁度よい」と赤しそジュースをグビグビッと飲み干した方など、いつもは口にすることのない味に皆満足されていた様子でした。



イチゴフロートです

デイケア利用者さんに提供

デイケアでは毎年恒例になっていたドリンクサービスですが、入院患者さんに実施して、改めて「食の楽しさ」を実感させていただくことが出来ました。今後も継続して提供できるよう各科スタッフ一丸となり取り組んでいきたいと思います。「写真はデイ・ケアセンターで提供された飲み物です」



メロンソーダです

デイケア利用者さんに提供



平成 27 年度 1 回目の防災訓練を実施

○実施日時 平成 27 年 6 月 25 日午後 1 : 30 ~

○出火場所 病院 2 階西側の職員休憩室

○参加者 美山病院職員 ハイムベルク職員

今年第 1 回目の防災訓練を実施した。特にこの時期は新人の職員が多いため、消火器を使用した訓練に時間を多くとって行った。



及川院長より、訓練は大切であり皆さん真剣に取り組んでほしいと述べる

美山病院 地域医療連携室より

地域医療連携室では、患者様がより良い医療を円滑に安心して受けていただけるよう、地域の医療機関等とのパイプ役として業務を行っております。



「主な業務内容」

- ・ 他医療機関、福祉施設などからの患者紹介・入院相談等
- ・ 紹介患者様の入院調整
- ・ 診療情報提供書、返書等の管理
- ・ 他医療機関への逆紹介（診察予約依頼）
- ・ 地域連携に関する情報収集、情報提供
- ・ 連携実績の把握（実績収集、統計作成など）
- ・ 広報活動



宜しくお願い致します

★ 入院相談につきましては、予約制となっております。
事前にご連絡をお願い致します。

★ 連絡先

電話 0197-24-2141 Fax 0197-24-2144

是非いらして下さい。

《今後の行事予定について》

第 14 回 食と健康まつり開催

平成 27 年 10 月 31 日(土) 開催 10:00 ~ 14:00

場所 美山病院 リハビリテーション室

今年のテーマ

“食生活を見直しましょう”

～脱生活習慣病 今あなたにできること～

第 3 回 緩和ケア相談の開催

月日 平成 27 年 10 月 10 日(土) 11:00 ~

場所 「イオン前沢店」
奥州市前沢区内

主催 美山病院 緩和ケア病棟

内容 緩和ケア病棟の様子を映像で確認できます、また、拡大した写真でも確認できます。

専門の相談員による相談を受けることが出来ます